

保護者の皆様へ

安宅中学校長 坂谷 敦子

学校評価に関わる保護者用アンケート（2学期）の結果について

2学期末にご協力いただきました標記のアンケート実施に際して、保護者の皆様にはお忙しい中、ご協力をいただきありがとうございます。（回収率は95%でした）集計の結果をお知らせいたします。1学期の結果も併記しますので、変化を比べながらご覧下さい。今回は学校へのご意見や要望の欄も設けました。頂いたご意見等はすべて職員間で共有しました。この紙面上でお答えでき得るものは記載するように致しました。同じ時期に、生徒アンケートもっており、この後実施する教職員アンケートの結果等も加味しながら、学校の今年度の重点目標への達成度を分析していきます。結果の総まとめをしたものを学校の「自己評価報告書」として関係者評価委員に提示し、「学校関係者評価」をいただく予定です。この2つの評価をまとめたものを今年度の安宅中学校の「学校評価」として市教委に報告します。3月末には学校のホームページにも公開する予定です。いろいろ気づかれた点がありましたら、ご遠慮なくご指摘下さい。それらを基に、引き続き保護者や地域の皆様に信頼していただける学校づくりを目指したいと思っております。

*** 集計結果の見方** （回収人数 1年：79名 2年：67名 3年：85名 合計231名）
 評価の欄の数値は、それぞれの設問に回答した全体数に対して、肯定的な回答（④と③）をしたものの割合を%で示したものである。

④よくあてはまる	③まあまああてはまる	②あまりあてはまらない	①あてはまらない
----------	------------	-------------	----------

I 学校の教育活動に関して

項目	設 問 内 容	評 価 (%)	
		2学期	1学期
1	9月の学年懇談会、学校行事（運動会・授業参観・文化祭・学校保健委員会等）、3年進路説明会などで学校の方針や取り組みのことがよく理解できた。	88	94
2	学校は学校・学年行事や生徒の活動の様子を学年便りなどでよく知らせている。	91	82
3	学校は交通安全や危険回避等の指導を適切に行っている。	84	87
4	地域で見かける生徒の登下校時の様子（交通マナーなど）は適切なものである。	67	68
5	生徒は挨拶がよくできる。	70	68
6	学校は子どものことについての不安や相談に適切に応じてくれている。	85	83
7	先生方は生徒指導上の問題に対して、きちんと対応していると思う。	91	85
8	先生方の服装や言葉遣いは節度のあるものだと思う。	92	89

《 集計結果からの分析および説明 》

* 項目1について

・1学期に比べて数値の下げ幅が大きいです。1学期の時の設問は、「PTA総会やその際の資料（教育の指針）、学年懇談会などで学校の方針や取り組みのことが理解できた」という文言でした。4月の総会や学年懇談会は最初の会ですから参加者も多く、資料を用いて説明をしましたので、高い評価を頂いたのだと思っています。

* 項目 2 について

- ・ 2 学期からは学校のホームページに校長室便りとして学校の活動をお知らせするようにしました。また、校内においては学年便りを中心として、いろいろな折に学校に来ていただいた時にも生徒達の活動状況が分かるように掲示板などでも成果が見えるような工夫をしてきました。

* 項目 3・項目 4 について

- ・ 生徒の登下校の様子について 2 件、ご意見がありました。1 件は「一部の生徒で気がかりな様子が見える、学校の指導も必要だと思うが、やはり家庭でもきちんと教えるべきである」という内容でした。もう 1 件は「ヘルメットをかぶっていない生徒を複数見かける、先生方はちゃんと指導しているのか」というものでした。事は安全に関わることですから当然日頃の指導と見かけた場合は『その場指導』を行っていますが、地域の中での様子を全て把握することは困難でもあり、また学校だけではなくご家庭での指導もお願いしたいと思っています。
- ・ 「地震・津波等が来たときの指導についてきちんとできているのか」という問い合わせがありました。東日本大震災以降、全ての学校安全マニュアルの見直しを図っています。(県や市からの指導により検討済みのものを提出しております。) また、津波に関しては本校(4 階建て。屋上も 8 月の工事で避難場所として整備済み)が地域周辺環境から考えても避難場所となりますので、小学校とも連携して地震・津波を想定した避難訓練を次年度に計画していく事を申し合わせています。

* 項目 5 について

- ・ 挨拶については、生徒だけでなく教職員も全て含めて今年度の学校の重点目標の 1 つです。生徒アンケートでは 90% の生徒が挨拶をしっかりとやろうとしてきたと答えています。ご意見の中に、「地域活動やボランティア等、挨拶やマナーを守ることなどは個人の成長のために数多くこなしてほしい」というものがありました。引き続き、取り組んでいきます。

* 項目 6・7・8 について

- ・ いずれの項目も 1 学期より数値が上がっていますが、これらの項目に関連するご意見が数件ありました。
- ・ 生徒への対応の仕方についての厳しいご指摘もありました。指導の際の言葉づかいや指導態度が教職者として適切かどうか、生徒への公平な指導や評価をお願いしたい、生徒のそれぞれ頑張っている過程にも気づき、伸ばすきっかけ作りも大切だと思う、三年間でどの子にも評価の機会が平等に与えられますように願っている等が主なご意見でした。子どもを間に挟んでの情報の場合が多くすべての情報が正確に伝わっていなかったり、また経過が見えにくかったりという事情がある場合もあるのですが、いずれにしても教職員自身も指導方法が適切であったかを振り返ってみる事が大事だと思っています。1 月の職員会議の中で話を出しました。

II 我が子の 2 学期の様子や家庭での様子について

保護者の皆さんには、ご自身のお子さんについてどうかということをお聞きしました。1 学期の結果も併記しました。比較しながらご覧下さい。

項目	設 問 内 容	評 価 (%)	
		2 学 期	1 学 期
1	子どもは日常生活の基本的な挨拶はできている。	8 1	8 2
2	子どもは時と場に応じた言葉遣いや行動ができるようになってきている。	8 4	8 3
3	子どもは社会のルールや学校の規則を守っていると思う。	8 6	8 9
4	子どもの加入している部活動や校外活動のクラブは、子どもを成長させるのに役立っている。	8 7	8 9
5	平日、子どもの帰宅後から就寝までの時間(主に家庭学習/TV・ゲーム等に費やす時間)の使い方は妥当なものだと思う。	4 5	

6	家庭での親子の会話から、子どもの友人関係や学校での様子をほぼ理解している。	79	86
7	家庭では、子どもと将来の目標や生き方、進路のことなどについて話すことがある。	74	78
8	家庭での会話の中で、その時々ニュースなどについても触れるようにしている。	73	77

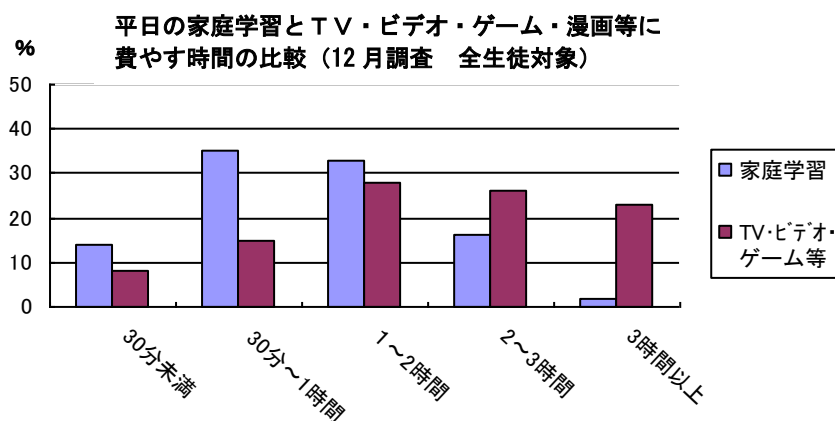
《 集計結果からの分析および説明 》

* 項目 1・2・3・4 について

- ・項目 1～3 は社会性や規範意識に関する項目です。先ほどの登下校時の様子について指摘があったことを紹介しましたが、生徒アンケートによると、こうしたルールを守ることが「できていない」と答えた生徒は 10% ほどいますし、また、「自転車マナーを守るなど、交通安全に気をつけて生活している」という項目にも「できていない」と答えた生徒は 10% でした。これらは社会の中で関わる大人たちが教諭することで、子どもたちに当たり前のこととして身につけていかせたいと思います。
- ・およそ 90% に近い保護者の方が、部活動や校外活動の意義を認めていらっしゃるようですが、ご意見の欄に、部ごとで指導方針に格差がありすぎないか、送迎の親の負担を減らして欲しい、部が終わった後、地区体育館付近でたまっている生徒たちをよく見かける、早期帰宅の声かけをして欲しい等の意見がありました。部の顧問会の中で、改善できる点や見直しすべき点などについての話し合いをしていく事になりました。

* 項目 5 について

- ・1 学期に保護者アンケートの結果報告で、平日の家庭学習時間調査と TV・ビデオ・ゲーム等に費やす時間調査の結果をグラフでお知らせしましたので、その後、ご家庭で改善が図られたのかどうかをお尋ねする項目でした。また、55% の保護者の方々は、我が子の時間の使い方に納得しておられないようです。ぜひ、帰宅してから就寝までの生活習慣の見直しを親子でお願い致します。



* 項目 6・7・8 について

- ・いずれも家庭における生活習慣や親子のふれあいに関する設問です。家族が自分を理解してくれているという安心感は何者にも代え難いものでしょう。また、家族と共に自分の将来や夢について話すことによって、子どもの中には少しずつ目標が設定されていきます。そして、そのために「今何をなすべきなのか」について考えていけるようになればいいなと思っています。家庭が子ども達にとって、安心できる重要な「基地」でありますように願っています。

Ⅲ 「学力向上研究推進校」として学校が取り組んでいることについて

4 月の P T A 総会でもお話ししましたように、本校は平成 23・24 年度小松市教育委員会より「学力向上研究推進校」として指定されております。石川県教育委員会から出されている「いしかわ学びの指針 12 か条」に基づいて取り組んでいます。主に今年度力を入れて行っていたことについて、どの程度保護者の皆さんに周知できていたかを知るための設問でした。結果をお知らせします。評価欄の数値は「知っている」と答えた保護者の割合を%で示したものです。

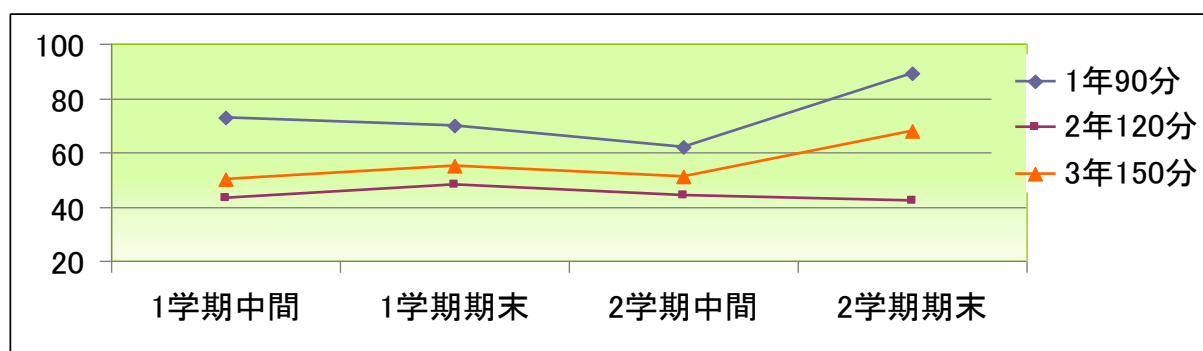
項目	設 問 内 容	評価 (%)
1	思考力・判断力・表現力を育てる機会（授業／テスト／行事等）を意識して取り入れている。	44
2	定期テスト 10 日前から「家庭学習強化期間」として各学年ごとに学習時間の目安を伝えている。	71
3	放課後、夏休み、冬休みなどを利用して学習を補充できる機会を作っている。	78
4	今年度から「家庭読書のすすめ」として、毎月 23 日前に保護者向けの図書貸し出しをしている。（ファミリー向けの便りが毎月出ている）	21

*項目 1 について

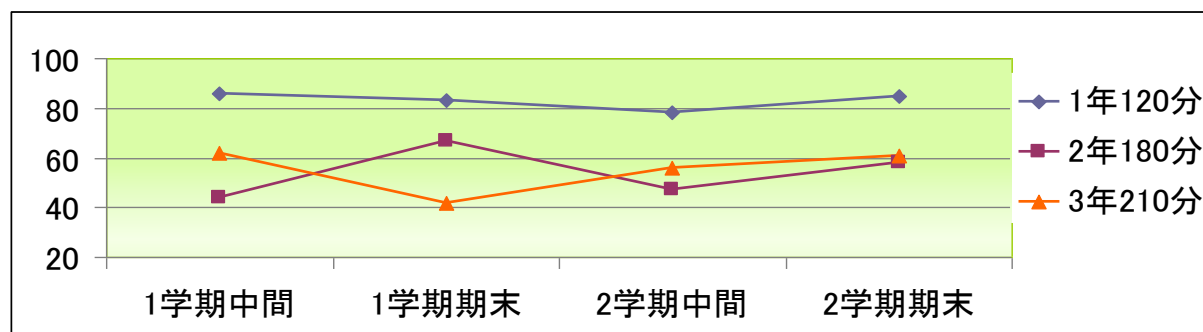
これは今回の新学習指導要領において求められている力の育成を図って取り組んでいることです。国の学力調査・県の基礎学力調査・県の公立高校の入試問題に反映されていますので、本校でも意識しています。中間テストや期末テストの問題用紙も一度ご覧下さい。

*項目 2 について

定期テスト 10 日前から取り組むこととした「家庭学習強化期間」中の学年目標時間の達成率 (%) の推移です。まずは 10 日前から 3 日前までの結果の推移を示したものです。



3 日前になると部活動停止になりますので以下のように目標時間をさらに上乗せしました。



*項目 3 について

必ず、こうした機会を設定しています。ただ、ご意見にもありましたが、その方法や内容については子どもの求めに応えられるものであったか、力を伸ばすことができたか、さらに工夫の必要があります。

*項目 4 について

読書習慣や読書の質が子どもたちの思考力・判断力・表現力の育成に関わることは容易に想像が付きまします。が、本校生徒はこの点がやや弱い。従って全国学力調査の国語 B (活用力をみる問題) にその弱さが出てまいります。ただ、読書習慣というのは家庭での習慣にも関係するところがあるので、毎月 23 日の「いしかわ学校読書の日」に合わせて保護者の皆様向けに貸し出し冊数を増やしています。学校図書館司書が毎月吟味した家庭版の図書便りを発行しています。お子さんにぜひ、尋ねてみて下さい。実態がよく分かりましたので、今後はメールでもお知らせするようにします。

引き続き、学校へのご理解・ご協力をお願い致します。